

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	産学連携による実践型人材育成事業(大学等)	担当部局庁	高等教育局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度・平成22年度	担当課室	専門教育課	専門教育課長 内藤 敏也				
会計区分	一般会計	施策名	IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	新成長戦略(基本方針) 第3期科学技術基本計画(平成18年3月28日 閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	多様な社会の要請に対応できる人材や、新たな産業を創出する創造性豊かな人材など、実践的な人材を育成するため、大学・短期大学・高等専門学校における産学連携による実践的な環境下での教育プログラムの開発・実施を通じて、これらにおける実践型人材育成機能の強化を図る。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	大学等に対し、産業界の連携による実践的な環境下において、以下の3つのテーマに関する教育プログラムを開発・実施する取組を支援する。(補助金:定額補助) ①長期インターンシップ・プログラム:質の高い3ヶ月以上のインターンシップ・プログラムの開発・実施 (対象:大学(大学院)、事業開始:平成17年度～) ②ものづくり技術者育成:ものづくり過程の全体を見渡し、技術の目利きをすることができるものづくり技術者の育成 (対象:大学(学部)、短大、高専、事業開始:平成19年度～) ③サービス・イノベーション人材育成:サービスに関して高いレベルの知識と専門性を備え、生産性向上やイノベーション創出に寄与する人材の育成 (対象:大学(学部・大学院)、事業開始:平成19年度～) ※平成20年度から①～③の事業を「産学連携による実践型人材育成事業」として1本化							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☒ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の 状況	当初予算	736	516	245	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	736	516	245	-	-	
		執行額	728	※1 598	236	-	-	
	執行率(%)	98.9%	115.9%	96.3%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	3ヶ月以上のインターンシップに参加した学生数 (長期インターンシップ)	成果実績	人	362	339	105	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
	地域や産業界等と連携した実践的プログラム受講者数(ものづくり技術者育成)	成果実績	人	2843	2931	737	-	
		達成度	%	-	-	-	-	
	サービス・イノベーション人材育成の科目等の履修者数	成果実績	人	334	1381	1392	-	
達成度		%	-	-	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	プログラム実施数(長期インターンシップ・プログラム)	活動実績 (当初見込み)	件	30	30	10	-	
			-	-	(10)	-		
	プログラム実施数(ものづくり技術者育成)	活動実績 (当初見込み)	件	17	17	5	-	
			-	-	(5)	(-)		
プログラム実施数(サービス・イノベーション人材育成)	活動実績 (当初見込み)	件	13	13	7	-		
		-	-	(7)	(-)			
単位当たり コスト	(長期インターンシップ) 7,717(千円/件)		算出根拠	(長期インターンシップ) 平成22年度補助金額(77百万円)/プログラム実施数(10件)				
	(ものづくり技術者育成) 9,880(千円/件)		算出根拠	(ものづくり技術者育成) 平成22年度補助金額(49百万円)/プログラム実施数(5件)				
	(サービス・イノベーション人材育成) 14,999(千円/件)		算出根拠	(サービス・イノベーション人材育成) 平成22年度補助金額(105百万円)/プログラム実施数(7件)				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業の成果の普及方法、成果目標を明確に設定する必要があった。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっている	
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・本事業により、実践的な人材育成プログラムが構築され、直近3年間で延べ1万人以上が受講等を行うなど、一定の成果が見られる。しかしながら、取組の成果普及が十分でないこと、成果目標が十分に確立されないという課題がある。 ・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・平成22年度の行政事業レビュー「公開プロセス」での評価結果や上述の課題等を踏まえ、平成22年度限りで本事業を廃止した。		
予算監視・効率化チームの所見			
	-	本事業は、事業開始からすでに6年が経過しており、様々な成果が蓄積されていると考えられること、平成22年度の行政事業レビュー「公開プロセス」での評価結果等を踏まえ平成22年度をもって廃止している。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
※1. 重点的な支援の観点から、年度内に同一補助金内で流用増して執行。 ○文部科学省行政事業レビュー「公開プロセス」平成22年度 事業番号1 「評価結果」: 廃止 「とりまとめコメント」: 本事業については、廃止4名との結果を踏まえ、廃止という結論とし、第一に、事業のアウトカムの検証や評価の考え方や基準を確立し、検証・評価をしっかりと行う、その上で、評価の高いプログラムの普及・活用を図るべき、第二に産学連携のための長期インターンシップの実施やプログラムの開発は、そもそも大学教育の本来業務であり、大学の経常経費で行えるよう大学の教育活動の強化や、基盤的経費のあり方も含めて検討をするべき、というまとめにしたい。 ※この評価結果等を踏まえ、本事業は平成22年度で廃止した。			

文部科学省
236百万円

諸謝金 1.1百万円
職員旅費 0.2百万円
委員等旅費 1.5百万円
庁費 1.3百万円

を含む

対象大学等から提案のあった事業内容を
審査の上、支援対象とする取組みを選定し、
補助金を交付する。

【公募・補助】

長期インターンシップ・プログラム
A.大学(全10機関)
77百万円

大学において、産学と連携し、質の高い3ヶ月以上のインターンシップ・プログラムを開発、実施。

【公募・補助】

ものづくり技術者育成
B.大学・高専(全5機関)
49百万円

大学・高専においてものづくり過程の全体を見渡し、技術の見利きをすることができるものづくり技術者を育成する教育プログラムの開発、実施。

【公募・補助】

サービス・イノベーション人材育成
C.大学(全7機関)
105百万円

大学において、サービスに関する高いレベルの知識と専門性を備え、生産性向上やイノベーション創出に寄与する人材を育成する教育プログラムを開発・実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.福井大学			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	旅費	インターンシップに係る国内旅費、海外インターンシップ調査のための外国旅費	4			
	人件費	特命教授、事務パート	3			
	その他	消耗品、印刷製本費、通信運搬費	1			
	計		8	計		0
	B.長岡技術科学大学			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	借料	3次元設計・試作システム賃貸借	4			
	加工費	実習製品加工費	3			
	印刷製本費	成果報告書	1			
	人件費	TA人件費	1			
	その他	消耗品、国内旅費、謝金、設備費	1			
	計		10	計		0
	C.京都大学			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	有期雇用教員、非常勤職員、会議出席謝金	9			
	消耗品費	医薬品、分析器具、プリンター、文具、図書	4			
	旅費	国内旅費、外国旅費	1			
	その他	印刷製本費、通信運搬費	1			
	計		15	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.長期インターンシップ・プログラム

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福井大学	地域産業との連携による派遣型高度人材育成	8	-	-
1	名古屋大学	研究開発リーダーを育てる派遣型実践教育	8	-	-
1	豊橋技術科学大学	社会環境即応型リーダー技術者育成プラン ーMOT指向生産システム技術科学教育によるリーダー人材の養成ー	8	-	-
1	岡山大学	エンジニアリングデザイン能力の養成プランー瀬戸内圏企業と協同 した実践的キャリア形成ー	8	-	-
1	徳島大学	経営センスを有するπ型技術者の協働育成	8	-	-
6	立教大学	派遣型ビジネススクリエーター養成プログラム	8	-	-
7	東京工業大学	社会共生型創発力を育む産学連携実践教育	8	-	-
7	信州大学	長寿長野を支える機能性食品の開発人材養成 ー地元企業と連携した高度専門技術と経営感覚の統合教育ー	8	-	-
7	帝塚山大学	マルチプレイ型コンテンツ知財専門人材育成	8	-	-
10	群馬大学	企業から期待されるナノテク技術人材の育成	7	-	-

※四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

B.ものづくり技術者育成

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	長岡技術科学大学	産学連携ものづくりフロー実践に基づく設計教育プログラムの開発	10	-	-
1	京都工芸繊維大学	川下り方式インターンシップによる産学連携ものづくり実践教育	10	-	-
1	武蔵野大学	エコ マニファクチャリング エキスパート育成事業	10	-	-
1	松江工業高等専門学校	マルチロール型エンジニア育成プログラムの開発・実践 ー地域と連携したエンジニアリングデザイン教育ー	10	-	-
1	函館工業高等専門学校 八戸工業高等専門学校	函八連携による道南ー青森圏の総合的ものづくり人材育成	10	-	-

※四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

C.サービスイノベーション人材育成

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	京都大学	ユビキタス健康社会の最新ニーズに対応した実践型人材育成	15	-	-
1	神戸大学	サービス産業における価値創造・獲得を果たすイノベーション創出 のための人材育成プログラムの開発	15	-	-
1	北陸先端科学技術大学院大学	情報科学と知識科学を基盤とするサービスイノベーション人材の育 成ー技術経営(MOT)と連携するサービス経営(MOS)コース新設ー	15	-	-
1	関西大学	プロセスイノベーター育成プログラムの開発	15	-	-
1	早稲田大学	金融サービス・イノベーション・マネジメント研究	15	-	-
1	慶應義塾大学	エクスペリエンスと講義と研究を一体化したスパイラル修士教育プロ グラム	15	-	-
1	滋賀大学	公共的対話と知的共同作業をベースにイノベティブな「心の習慣」 と「イノベーション評価能力」を養成し、地域的競争力の強化にコミッ トメントする中核的人材育成事業	15	-	-